

# 第5学年 国語科学習指導案

指導者 広島市立〇〇小学校  
教諭 〇〇 〇〇

1 日時 平成26年10月〇日

2 学年・組 第5学年〇組

3 指導事項

(1) 書くこと (イ)

・自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えること。

(2) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(キ)

・文や文章にはいろいろな構成があることについて理解すること。

4 単元名 活動したことを伝える文章を書こう  
「伝えよう、委員会活動」(東京書籍 5年生下)

5 単元目標

○意見に適した根拠とは何かを具体的に考える力を高める。

○目的や意図に応じた、効果的な構成を考える力を高める。

○自分が所属する委員会活動の魅力や意義を認識する。

6 言語活動

事物のよさを多くの人に伝えるための文章を書くこと。(2)ウ

【委員会活動の魅力や意義を伝える『紹介リーフレット』を作ろう】

7 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
○相手に委員会の魅力や意義を伝えようと、主体的にリーフレットを行っている。	○相手に委員会の魅力や意義を伝えるために、根拠となる情報を収集し、目的や意図に応じて、紹介する内容の構成を工夫することができる。	○リーフレットには、目的や意図に応じて、いろいろな構成があることを理解することができる。

## 8 単元について

### ○児童の状況

自分の考えを明確に表現すること：児童は、これまでの学習で、自分の立場を明らかにして文章を書いたり、資料から相手を説得するための根拠となるような情報を選んで書いたりする学習をしてきた。その中で、理由を明らかにして説明することや、資料から情報を取り出して書くことが、概ねできるようになっている。しかし、児童が意見文で示した根拠や理由は、意見とのつながりが弱かったり、独りよがりなものになっていたりするなど、相手を十分に納得させるものになっていないことが多かった。

文章全体の構成の効果を考えること：児童は、これまでの学習で、「意見－理由－意見（まとめ）」という双括型の意見文や「問いかけ－問題提起－具体的な事実－意見」という尾括型の意見文を書く学習を行ってきた。教科書教材に示された意見文など、手本となる文章を参考にして、構成を真似て書くことができるようになりつつある。しかし、自分が伝えたいことや相手に与えたい印象など、目的や意図に応じて、自ら構成を考え、工夫する経験が乏しく、十分にその力を育てることができていない。

文や文章にはいろいろな構成があることについて理解すること：児童は、これまでの書くことの学習で、伝える目的や内容に応じて、「意見－その理由、根拠」「問いかけ－問題提起－具体的な取り組みの紹介－自分の考え」など、いろいろな構成があることを学んできた。しかし、リーフレットでも、目的や意図に応じて、いろいろな構成ができるという視点は、十分に育っていない。

### ○教材の価値

委員会の魅力や意義を伝える「紹介リーフレット」：本単元では、書くことの力を高めるために、来年度委員会活動に参加する4年生に、一人一人の児童が、今年度所属している委員会の魅力や意義を紹介するリーフレットを作る活動を行う。

この活動のよさの一つ目は、相手と目的が明確であることである。相手が下級生である4年生であることは、児童の意欲を高めるものである。また、4年生に委員会の魅力や意義を紹介することで、4年生が委員会の大切さを理解し、委員会活動への意欲を高められるようにするという目的は、中途半端なリーフレットを作るわけにはいかないという義務感や責任感を児童に与えるものであろう。

二つ目に、リーフレットは、構成が工夫しやすいものであることである。リーフレットは、一番伝えたいことは、何か、どこに書いてあるかが、配置によって理解できたり、また、どのような順序で書こうとしているかが、リーフレットの読ませ方などの仕組みで分かたりするなど、書き手にとっても、読み手にとっても、構成というものを明確に考えやすい。

三つ目に、リーフレットを作る5年生児童の委員会活動に対する意欲やものの見方の質をさらに高めることができることである。委員会の魅力や意義を紹介するために、所属する委員会について、目的は何か、そのためにどんな活動をしているのか、どんな効果があったのかなどを考えたり、取材したりすることを通して、さらに委員会の重要さに気付くことができると考える。

## ○指導の工夫

自分の考えを明確に表現すること：本単元では、4年生に委員会を紹介するリーフレットを作る。相手意識や目的意識を明確に持つことができる学習である。しかし、そうであるからこそ、相手を引きつけるために、「おもしろい活動」や「興味をもちやすい内容」だけを紹介するものになりがちである。例えば、体育委員会では、たくさんの人が大好きな「ドッジボール」の大会を企画したことや集会委員会の景品には人気の「妖怪ウォッチ」の絵を描いたしおりを作ったことなどを紹介して、興味を引くリーフレットなどを作ることはよくあることだと考える。本単元で作るリーフレットでは、4年生の委員会活動への意欲を高めるために、クラスで協力して、全ての委員会の魅力や意義が伝わるようにするという目的を設定する。

また、取材活動に見通しをもって取り組ませるようにしたい。伝えたい委員会の魅力や意義に適した根拠となる情報は何かを取材活動前に考える活動を仕組み、必要となる情報を集めるように促したい。取材活動の前後に、伝えたいこととその根拠がつながっているかを考える場面を仕組むことで、意見と根拠を太くつなぐことへの意識や意見と根拠のつながりを確かめる習慣を高めたい。

文章全体の構成の効果を考えること：一番伝えたいことをリーフレットのどこに配置するか、どのような順番で配置するかが重要な構成の工夫となる。構成を考える助けとなる「レイアウトメモ」を作るようにする。「レイアウトメモ」には、項目毎に付箋紙書いた活動内容を張る。付箋紙にすることで、配置を自由に変えながら構成を考えることができる。また、「レイアウトメモ」そのものは、真っ白な普通紙を用いて、目的や意図に応じて、いろいろな折り方が試せるようにする。また、重要な内容ほど、見出しや図・グラフを活用するなど、情報量を多くして、相手の興味を引いたり、理解を高めたりするので、スペースの大小の工夫も、レイアウトメモを使って考えさせるようにしたい。

また、「レイアウトメモ」を作る場面を、取材前と取材後に設定した。構成の質を高めるだけでなく、構成を考える機会を増やすことで、文章全体の構成を効果的に考える力を育てたいと考える。

## 9 単元のゴール

評価	評価基準	児童の具体的な姿
B	自分が所属する委員会活動の魅力や意義を理解し、それが相手に伝わるような情報を選び、目的や意図に応じてレイアウトを工夫して、「リーフレット」を作ることができている。	(リーフレット表：問いかけ) そうじの片付けをいつから始めていますか？ (リーフレット中：答えと説明) そうじの片付けは、1時35分から始まります。1時45分から始まる〇〇タイムに、休憩をとっても間に合う時間です。時刻を守って、余裕をもって、〇〇タイムの学習に参加することができたら、午後の学習もリズム良く、集中して学習することができると思います。時間や時刻を守ることに、そのような効果があります。放送委員会の仕事は、放送によって時刻を知らせることなどで、みなさんの生活リズムを整えることができるものなのです。 (委員会の魅力や意義+根拠となる情報+文章構成)

10 単元の学習と評価の計画（全8時間）

次	学習内容（時数）	評価				
		関	書	言	評価規準	評価方法
一	<p>来年度高学年になる4年生に、自分の所属する委員会の魅力や意義を伝える「リーフレット」を作るという活動の目標を知り、委員会の魅力や意義は何かを考える。</p> <p>委員会の魅力や意義を伝える根拠となる情報には、どんなものがあるか考える。</p> <p>(1)</p>	○	○		<p>・これまでの委員会活動を振り返りながら、自分が所属する委員会の一番の魅力や意義は何かを選び、それを伝えるためには、どんな情報を伝えるべきなのかを考えている。</p>	<p>発言内容 情報メモ</p>
	<p>自分たちの所属する委員会の魅力や意義を伝えるためには、どんな情報を伝えることが有効かを検討し、選ぶ。</p> <p>選んだ情報を、レイアウトメモを使って、どのような配置やスペースで説明するか決め、必要となる情報の質や量の見通しを持ち、取材活動を行えるようにする。</p> <p>本時(1)</p>		○	○	<p>・自分たちの所属する委員会の魅力や意義を伝えるために、一番大事な内容をどこに配置するか、どのような順序で伝えるかなど、レイアウトメモを使って、リーフレットの構成を工夫することができている。</p>	<p>発言内容 レイアウトメモ</p>
二	<p>自分の所属する委員会の活動内容に関する情報を「取材メモ」に収集する。</p> <p>(1)</p>	○	○		<p>・委員会の意義や魅力が伝わるように、必要な情報を見通しをもって集めることができている。</p>	<p>活動の様子 取材メモ</p>
	<p>収集した情報が、委員会の魅力や意義を伝えるものになっているかを確認、集めた情報を整理する。</p> <p>(1)</p>		○		<p>・集めた情報を整理、確認し、必要な情報が集まっているか見直すことができている。</p>	<p>活動の様子 取材メモ</p>
	<p>集めた情報から、見出しや資料などを考え、レイアウトメモを見直し、構成を決める。</p> <p>(1)</p>		○	○	<p>・集まった情報をレイアウトメモに並べ、構成の効果を見直すことができている。</p>	<p>活動の様子 レイアウトメモ</p>
	<p>レイアウトメモをもとに、リーフレットを作る。</p>		○		<p>・構成に適した、見出しや図や表などを書き加えながら、</p>	<p>活動の様子 リーフレット</p>

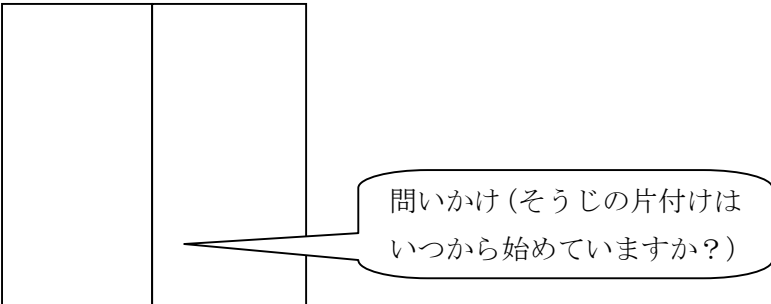
	(2)			集めてきた情報を記事にして、リーフレットを書くことができている。	
三	完成したリーフレットを4年生に読んでもらい、その反応をもとに自分やクラスメイトのリーフレットについてふり返る。 (1)		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4年生の感想をもとに、自分の伝えたかったことが伝わるリーフレットになっていたかふり返ることができている。</li> <li>・クラスメイトのリーフレットやそれに対する4年生の感想を読み、構成の工夫など、リーフレットの良さを見つけることができている。</li> </ul>	発言内容 ふりかえりカード

### 1.1 本時の目標

○委員会の魅力や意義を伝えるために、リーフレットの構成を工夫することができる。

### 1.2 本時のゴール

評価規準		
自分たちの所属する委員会の魅力や意義を伝えるために、一番大事な内容をどこに配置するか、どのような順序で伝えるかなど、レイアウトメモを使って、リーフレットの構成を工夫することができる。		
評価	評価基準	児童の具体的な姿
A	目的や意図に応じて、構成を工夫したレイアウトメモを作っていることに加えて、委員会の魅力や意義という伝えたいことと根拠となる活動内容のつながりが明確になっている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Bに加えて</li> </ul> 1時間目に作った「情報メモ」の中から、自分が考える委員会の魅力や意義を伝えるために、もっともつながりの強い根拠と考えられる活動内容を選ぶことができている。  (構成の工夫+意見と根拠のつながり)
B	目的や意図に応じて、構成を工夫したレイアウトメモを作っている。	<b>【レイアウトメモ】</b> (リーフレット中) <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">(一番伝えたい活動内容)</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin-right: 10px;">そうじ放送 (時間や時刻を守って、規則正しい学校生活を送ることができるようにするため)</div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">(委員会の意義や魅力)</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px;">放送委員会の仕事は、放送によって時刻を知らせることなどで、みなさんの生活リズムを整えることができる</div> </div>

		<p>(リーフレット表)</p>  <p>(構成の工夫)</p>
C	<p>目的や意図に応じて、構成を工夫したレイアウトメモを作ることができていない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Bのように、工夫して構成を考えることができていない。</li> <li>・ レイアウトメモを作ることができていない。</li> </ul>

### 1.3 本時の流れ

学習活動	指導上の留意点	評価基準 (評価方法)
1. 本時のめあてを確認する。		
リーフレットの構成が分かる「レイアウトメモ」を作る。		
	<p>○指導者が作ったレイアウトメモをもとに、レイアウトメモを作る目的と具体的な活動を確認する。</p> <p>目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 取材することの見通しをもつため</li> <li>・ 興味関心を引く、説得力のあるリーフレットを作るため</li> </ul> <p>具体的な活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一番伝えたい活動内容をどこに、どの大きさで書くかを定める。</li> <li>・ 一番伝えたい活動内容をどのような順序で伝えるか考え、リーフレットの折り方を定める</li> <li>・ より説得力を高めるために、どこにどのような情報を補うかを定める</li> </ul>	
2. 自分の伝えたいこと、目的や意図に応じて、活動内容の配置やスペースをレイアウト	<p>○委員会活動の意義や価値、一番重要な活動内容などを一人一人が選べるように、リーフレット作りは、個人で行う。</p>	

<p>トメモに大まかに示す。</p> <p>予想される児童の反応 (重要な活動内容の配置)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 右上、始めに配置</li> <li>・ 真ん中に配置</li> <li>・ 左下、最後に配置</li> </ul> <p>(リーフレットの折り方)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 冊子タイプ</li> <li>・ 観音開きタイプ</li> <li>・ 飛び出す絵本タイプ</li> </ul> <p>3. レイアウトの意図を、グループで伝え合い、意見交流をする。</p> <p>4. 構成の工夫の仕方について、理解を広げたり深めたりするため、グループで効果的なレイアウトをしているものを、全体で紹介し合う。</p> <p>5. 紹介されたレイアウトを参考に、自分のレイアウトを見直す。</p>	<p>○委員会毎のグループ席にすることで、委員会の意義や価値、活動内容についていつでも相談できるようにする。</p> <p>○構成に悩んだときには、指導者が作ったレイアウトメモを見に行くことを許可する。</p> <p>○構成の意図や目的を問いかけながら、机間巡視を行い、リーフレット作りの目的が希薄になっていないか確かめる。児童の目的意識がずれ始めている場合(リーフレットの折り方のおもしろさを追究しているなど)には、活動を止め、目的を確認し直す。</p> <p>○話し合いがスムーズに行くように、司会者を立て、「学習計画表」をもとに進行させる。</p> <p>○リーフレットを評価する視点を示し、アドバイスなどができるようにする。 (評価の視点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一番伝えたい活動内容に注目できる構成になっているか。</li> <li>・ 一番伝えたい活動内容と伝えたい委員会の魅力や意義につながりがあるか。</li> </ul> <p>○構成が工夫されているものを全体で紹介する時間を設定していることを伝え、準備させておく。</p> <p>○紹介するときには、どこが、どのように工夫されているのかを伝えるように促す。</p> <p>○紹介するグループが増えるように、作成者以外が紹介してもよいようにする。</p> <p>○構成をやり直したり、修正したりする時間をできるだけ確保するが、短時間になることが予想されるため、取材後にも、もう一度構成を見直す時間を設定することを伝える。本時では、伝える活動内容についての見通しがもて、取材活動が円</p>	<p>目的や意図に応じて、構成を工夫したレイアウトメモを作っているか。委員会の魅力や意義という伝えたいことと根拠</p>
--	--	--

<p>6. まとめと次回の学習の見直しをもつ。</p>	<p>滑に行えるようになっていることが重要であることをもう一度確認する。</p> <p>○次の時間は、取材活動の仕方やポイントを確認することを伝え、取材活動は、次の学習が終わったあとに始めることを確認する。</p>	<p>となる活動内容のつながりが明確になっている。</p> <p>(レイアウトメモ、話し合い活動、学習の振り返り)</p>
-----------------------------	---	---